

吉田璋也のデザイン

— 新作民藝運動がめざした未来

2026年3月14日(土)~6月21日(日)

民藝ファン必見！
いまの暮らしに取り入れたい手仕事のデザイン



展覧会概要

吉田璋也(1898-1972)は医師でありながら、民藝のプロデューサーとして日常の暮らしに用いられる品を自らデザインし生産・流通・販売の体制を確立し、民藝運動に生涯を捧げた人物です。

吉田は柳宗悦(1889-1961)が提唱した民藝運動に共鳴し、1931年に鳥取で医院を開業したのち、陶芸・木工・染織・和紙・金工などの職人を集めて「現代の生活にふさわしい日用品」づくりを行いました。

本展では、吉田璋也が伝統的な手仕事を現代の生活に根付かせるためにデザインした「新作民藝」を、陶器や家具、テキスタイルなど関連する作品や資料総数297件を展示し、ご紹介します。

見どころ

- ・ 食器からランプシェード、椅子、ネクタイ、カゴ、パン切りナイフやイカ墨インクまで、暮らしに取り入れたアイテムが勢ぞろい！
- ・ 通常非公開含む作品・資料総数 297件！民藝好きなら外せない、吉田璋也 過去最大の展覧会。

茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地(笠間芸術の森公園内)
Tel:0296-70-0011 Fax:0296-70-0011
<https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>



プレスリリースはウェブでもご覧いただけます。

しゃぶしゃぶは吉田璋也が指導した
「牛肉水だし料理」から生まれたんだって！
お鍋も見られるよ！

ケラモン
茨城県陶芸美術館
教育普及キャラクター



開催概要

展覧会名	吉田璋也のデザイン — 新作民藝運動がめざした未来
会 期	2026年3月14日(土)～ 6月21日(日)
会 場	茨城県陶芸美術館 地下1階 企画展示室、2階 県民ギャラリー
主 催	茨城県陶芸美術館、NHK水戸放送局、NHKプロモーション
制作協力	NHKエンタープライズ中部
特別協力	鳥取民藝美術館
後 援	笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、産経新聞社水戸支局、東京新聞つくば支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、LuckyFM茨城放送
開館時間	9時30分～17時(入場は16時30分まで)
休 館 日	毎週月曜日(ただし、5月4日は開館)、5月7日(木)
観 覧 料	一般950(770)円 70歳以上470(380)円 高校生等710(590)円 小中生360(290)円 ()内は20名以上の団体料金。()内は20名以上の団体料金。 ※土曜日は高校生以下無料(ただし3月28日、4月4日を除く)。 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳または指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方及び付き添いの方(ただし、1人につき1人まで)は無料。 ※3月28日(土)、5月30日(土)は満70歳以上の方無料。 ※本展覧会チケットで常設展示もご覧いただけます。

広報文1(74字)

吉田璋也が手仕事を現代生活に根付かせるためにデザインした「新作民藝」の軌跡を、陶器、家具、テキスタイルなどの作品や資料総数297件からご紹介します。

広報文2(132字)

吉田璋也は医師でありながら、民藝のプロデューサーとして日常の暮らしに用いられる品を自らデザインし、生産・流通・販売の体制を確立し、民藝運動に生涯を捧げた人物です。本展では、吉田の「新作民藝」を、陶器、家具、テキスタイルなどの作品や資料総数297件からご紹介します。

広報文3(215字)

吉田璋也は医師でありながら、民藝のプロデューサーとして日常の暮らしに用いられる品を自らデザインし、生産・流通・販売の体制を確立し、民藝運動に生涯を捧げた人物です。吉田は陶芸・木工・染織・和紙・金工などの職人を集めて「現代の生活にふさわしい日用品」づくりを行いました。本展では、吉田が伝統的な手仕事を現代の生活に根付かせるためにデザインした「新作民藝」を、陶器、家具、テキスタイルなどの作品や資料総数297件を展示し、ご紹介します。

プレスレビューのお知らせ

3月13日(金)13時00分より プレスレビューを行います。

*同日14時より開会式・内覧会を予定しています。

関連企画

- (1) 講演会「吉田璋也のものづくり」(予約優先・定員90名)
内 容: 鳥取民藝美術館の尾崎麻理子氏に、吉田璋也が「プロデュース」した出品作品の見どころについて、当時の資料類から吉田の仕事ぶりを紐解きつつご紹介いただきます。
講 師: 尾崎麻理子氏(鳥取民藝美術館 学芸顧問)
日 時: 3月14日(土) 13時30分から15時00分まで
会 場: 当館1階多目的ホール
参加費: 無料(要企画展観覧料)

- (2) トークショー「手仕事を、いまの暮らしに届けるしごと」(予約優先・定員90名)
内 容: 現代の手仕事を扱うセレクトショップ「pejite」、古い家具等を次の持ち主へつなぐ「仁平古家具店」を営む仁平透氏に、手仕事との関わりや生活に取り入れるヒントなどを伺います。
講 師: 仁平透氏(pejite・仁平古家具店 店主)
日 時: 5月23日(土) 13時30分から15時00分まで
会 場: 当館1階多目的ホール
参加費: 無料(要企画展観覧料)

- (3) ワークショップ「春色パレット — 植物で染める布小物」(要予約/定員各回15名 抽選)
内 容: 茨城県内で採れる春の植物を使って布小物を染めます。染めるための植物(2種類)と染めるもの(ハンカチか巾着)はお選びいただけます。※お楽しみノベルティ付き
講 師: futashiba248(染色クリエイターユニット)
日 時: 4月11日(土)
[午前の部]10時00分から12時00分まで
[午後の部]14時00分から16時00分まで
会 場: 当館地下1階研修室
対 象: 小学生以上
参加費: 3,000円(要企画展観覧料)
※抽選申込受付期間 2月28日から3月22日まで
※お申込みは1人1回まで。グループの場合最大3名まで。
※抽選の結果は3月26日(木)以降にお知らせいたします

- (3) ギャラリートーク(予約不要)
内 容: 担当学芸員による展覧会案内
日 時: 5月9日(土) 13時30分から
会 場: 当館地下1階企画展示室
参加費: 無料(要企画展観覧料)

- (4) ケラモンのおはなしのへや(読み聞かせ)(予約不要)
日 時: 6月6日(土) 13時30分から14時00分まで
会 場: 当館地下1階研修室
参加費: 無料(要企画展観覧料)

- (5) つくば美術館土曜講座
内 容: 担当学芸員による展覧会紹介
日 時: 4月25日(土) 13時30分から15時00分まで
会 場: 茨城県つくば美術館2階アルスホール(tel.029-856-3711)
※ 詳しくは茨城県つくば美術館ウェブサイトをご覧ください。

出品作品画像

下記の作品画像は広報担当のe-mailアドレスまでご連絡いただけましたらデータをお送りします。
使用の際には作品キャプション(収蔵を含む)を併記してください。

ポスター画像



①吉田璋也(デザイン)、虎尾政次
伸縮式中折傘電気スタンド
1932年
鳥取民藝美術館蔵



②吉田璋也(デザイン)
医師用車輪付椅子
1952年
個人蔵



③吉田璋也(デザイン)
患者用診察椅子
1952年
個人蔵



④吉田璋也(デザイン)、吉田慧代他
ににぐりネクタイ
1931年
鳥取民藝美術館蔵



⑤吉田璋也(デザイン)、牛ノ戸焼
緑釉黒釉染分皿
1931年
鳥取民藝美術館蔵



⑥吉田璋也(デザイン)、牛ノ戸焼
緑釉白釉黒釉三方掛分皿
1957年
鳥取民藝美術館蔵



⑦吉田璋也(デザイン)、牛ノ戸焼
緑釉筆立付水滴(丸型)
1950年頃
鳥取民藝美術館蔵



⑧吉田璋也(デザイン)
腕時計掛け
1960年頃
個人蔵



⑨吉田璋也(デザイン)、蔵多宣夫
果物ナイフ(上)
パン切りナイフ(下)
吉田璋也(デザイン)、茗荷定治
パン切り台
1950年代前半
鳥取民藝美術館蔵



⑩吉田璋也(デザイン)、辰己木工
折畳スツール
1959年頃
鳥取民藝美術館蔵



⑪吉田璋也(デザイン)
竹ショルダーバッグ
1950年代前半
個人蔵

問い合わせ先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内)
TEL:0296-70-0011 FAX:0296-70-0012

展覧会担当:学芸課 学芸員 芦刈 歩
主任学芸員 飯田 将吾
広報担当:企画管理課 主任学芸主事 塚田 巧

e-mail: ashikari.ayumi@blue.ibk.ed.jp
e-mail: iida.syougo@post.ibk.ed.jp
e-mail: kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp